

総合周産期母子医療センター（産科部門）

1. スタッフ（2021年4月1日現在）

センター長	（教授）藤原 寛行
副センター長	（教授）山形 崇倫
	（教授）高橋 宏典
分娩部部长	（教授）大口 昭英
母体胎児集中治療部部长	（准教授）薄井 里英
院内助産所部長	（准教授）薄井 里英
医員	（講師）馬場 洋介
	（講師）鈴木 寛正
	（助教）永山 志穂
	（助教）小古山 学
他 病院助教、シニアレジデント	33名

2. 特徴

当センター産科部門は母体・胎児集中治療部と分娩部、院内助産所の3部門で構成されている。

獨協医大同センターと協力し栃木県の周産期医療の中心的施設として診療にあたっている。病床は58床（母体胎児集中治療ベッド12床、一般ベッド46床）で運営している。さらに、栃木県の周産期連携センターでもあり、母体搬送の受け入れ先を確保する業務を担っている。3次施設としてのセンター機能を十分に果たすと共に、地域医療施設としての一般妊産婦診療まで幅広く行っている。また院内助産所ラヴィでは大学病院という安全な環境のもとに妊婦主体のアットホームな分娩産褥サポートを提供している。

施設認定、専門医・認定医は産科アニュアルレポートに掲載

3. クリニカルインディケーター

I. 母体・胎児集中治療管理部

1. 入院患者総数

1439人

2. 入院の適応

入院時病名

病名	患者数
1. 分娩のための入院	555
2. 新生児	199
3. 切迫早産	99
4. 多胎	81
5. 妊娠高血圧症候群、HELLP	69
6. 他科疾患合併妊娠	65
7. 前置胎盤、低置胎盤	50

8. 羊水検査	46
9. 流産、人工妊娠中絶	44
10. 産褥異常	39
11. 切迫流産	38
12. 胎児発育不全	32
13. 早産期前期破水	17
14. 妊娠悪阻	14
15. 頸管縫縮術	14
16. 胎児形態異常	11
17. 子宮内胎児死亡	10
18. 羊水量の異常	9
19. 常位胎盤早期剥離	7
20. 胎児機能不全・胎盤機能不全	5
21. 卵巣腫瘍合併妊娠	3
22. その他	32
合計	1439

3. 診療実績

分娩総数	904
単胎	816
双胎	86
品胎	2
多胎率	9.7%
帝王切開術	510
帝王切開率	56%
吸引分娩	54
鉗子分娩	0
子宮頸管縫縮術	25
子宮内容除去術	19

4. センター母体搬送受け入れ実績

母体搬送要請件数	214件
当院受け入れ件数	167件

5. 母体搬送時診断

1. 切迫早産	40
2. 産褥異常(*)	37
3. 妊娠高血圧症候群、HELLP症候群、子癇	21
4. 切迫流産・流産	15
5. 早産期前期破水	12
6. 他科疾患合併	8
7. 前置胎盤・低置胎盤出血	7
8. 常位胎盤早期剥離	4
9. 胎児発育不全	4
10. 羊水量の異常	2
11. 急性腹症	1

12. 子宮内胎児死亡	1
13. 羊水量の異常	1
14. その他	14
合計	167

*産褥異常症例の内訳

弛緩出血14件、膣外陰血腫 7 件、胎盤遺残 6 件、子宮仮性動脈瘤 3 件、子宮内反症 2 件

6. 近県との連携

県外へ搬送した症例 2 件
 栃木県外から当院へ受け入れた症例 18件
 （茨城16件、埼玉 1 件、その他 1 件）

II. 分娩部

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
単胎					
分娩数	876	872	851	802	816
帝王切開数	410	419	392	374	426
帝王切開率	47%	48%	46%	46%	52%
双胎					
分娩数	75	117	96	80	86
帝王切開数	73	114	93	77	82
帝王切開率	97%	98%	96%	96%	93%
品胎					
分娩数	0	0	1	2	2
帝王切開数	0	0	1	2	2
帝王切開率	-	-	100%	100%	100%
総分娩数	951	989	948	884	904
総帝王切開数	483	533	486	535	510
帝王切開率	51%	54%	51%	53%	56%
緊急帝王切開数	232	215	185	212	208
緊急帝王切開率	48%	40%	38%	40%	40%

1. 帝王切開の適応

帝王切開術の適応	件数
1. 既往帝切	152
2. 多胎	84
3. 前置胎盤・低置胎盤	46
4. 胎位異常	39
5. 胎児機能不全	37
6. 妊娠高血圧症候群（HELLPも含む）	34
7. 分娩停止	32
8. 子宮筋腫、既往子宮手術	24
9. 児頭骨盤不均衡	12
10. 絨毛膜羊膜炎、子宮内感染	10
11. 常位胎盤早期剥離	7
12. FGR	2
13. その他*	31
合計	510

2. *母体合併症と胎児形態異常を含む。

2. 単胎分娩週数分布

早産 218件（15.5%）
 過期産 5 件（0.6%）

分娩週数	件数
22	1
23	4
24	4
25	1
26	3
27	4
28	1
29	4
30	7
31	3
32	4
33	12
34	20
35	16
36	44
37	148
38	214
39	130
40	125
41	66
≥42	5
不明	0
計	816

3. 単胎出生体重分布

低出生体重児 173例（21.2%）

出生体重（g）	件数
～499	4
500～999	17
1,000～1,499	17
1,500～1,999	35
2,000～2,499	100
2,500～2,999	291
3,000～3,499	270
3,500～3,999	78
4,000～	4
計	816

4. 双胎分娩週数分布

早産 35件 (43.5%)

分娩週数	件数
28	1
29	2
30	2
31	2
32	2
33	3
34	6
35	5
36	12
37	50
38	1
≥39	0
計	86

5. 双胎出生体重分布

低出生体重児 112例 (65.1%)

出生体重 (g)	出生数
～499	2
500～999	0
1,000～1,499	16
1,500～1,999	22
2,000～2,499	72
2,500～2,999	51
3,000～3,499	9
3,500～	0
計	172

6. 出産年齢分布 (括弧内は多胎)

年齢	件数
総分娩数	904 (88)
若年 (19歳以下)	6 (0) 0.6%
35-39歳	285 (23) 31.4%
40歳以上	133 (7) 14.7%
高年 (35歳以上)	418 (30) 46.2%

4. 2021年の目標・事業計画等

栃木県の周産期連携センターとして、獨協医大と当院が良好な関係を保ちながら、県内の母体搬送はスムーズに行われている。今後も行政や、総合・地域周産期母子医療センターと協力し、栃木県の周産期医療の発展に努めたい。